

令和 4 年度 保険者機能強化推進交付金及び 介護保険保険者努力支援交付金について

平成 29 年地域包括ケア強化法により、地域包括ケアシステムを推進・深化するとともに、保険者機能の強化に向け、平成 30 年より「保険者機能強化推進交付金」が創設され、評価項目の達成状況に応じた交付金が交付されている。令和 2 年度には、さらに介護予防・重度化防止の取組みを推進するため、介護予防・健康づくりに資する取組に重点化した「介護保険保険者努力支援交付金」が創設された。

① 概要

○交付方法

- ・ 評価指標の達成状況（評価指標の総合得点）に応じて配分
- ・ 市町村の「評価指標ごとの評価点数×第 1 号被保険者数」により算出した点数を基準として、「各市町村の評価点数×各市町村の第 1 号被保険者数」の規模別配分額の合計に占める割合に応じて予算の範囲内で交付

$$\begin{array}{l}
 \text{「登米市」の交付額} = \text{第 1 号被保険者} \times \frac{\text{「登米市」の評価点数} \times \text{「登米市」の第 1 被保険者数}}{\text{各市町村の評価点数} \times \text{各市町村の第 1 被保険者数の規模別合計}} \\
 \text{規模別配分額}
 \end{array}$$

※令和 4 年度予算（国）：約 190 億円（総額 200 億円-都道府県分 10 億円）

② 評価結果・・・裏面

③ 今後の方向性

評価指標は年度ごとに見直しが行われているが、それぞれの項目で改善が可能な項目については地域ニーズ等を踏まえながら検討・実施し、次年度に繋げていく。

また、取組の推進・検討にあたり、関係機関等と取組の方向性や市の現状の共有を図る。

保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金評価結果

評価指標内容		令和4年度											
		保険者機能強化推進交付金						介護保険保険者努力支援交付金					
		評価 項目	配点	登米市		県 平均点	国 平均点	評価 項目	配点	登米市		県 平均点	国 平均点
				得点	得点率					得点	得点率		
I	PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築	6	115	85	73.9%	52.4	66.0	2	35	15	42.9%	11.9	18.5
II	自立支援、重度化防止等に資する施策の推進	40	900	535	59.4%	444.9	462.4	24	635	325	51.2%	295.7	298.0
	(1) 介護支援専門員・介護サービス事業所等	5	100	85	85.0%	45.7	50.9	—	—	—	—	—	—
	(2) 地域包括支援センター・地域ケア会議	7	105	65	61.9%	62.0	59.7	4	60	20	33.3%	32.0	29.1
	(3) 在宅医療・介護連携	5	100	95	95.0%	54.8	66.5	1	20	20	100.0%	13.0	14.9
	(4) 認知症総合支援	3	100	45	45.0%	62.5	56.5	2	40	25	62.5%	29.4	26.8
	(5) 介護予防/日常生活支援	12	240	105	43.8%	91.0	100.3	12	320	145	45.3%	121.0	130
	(6) 生活支援体制の整備	5	75	35	46.7%	38.5	41.5	2	15	10	66.7%	9.9	10.2
	(7) 要介護状態の維持・改善の状況等	3	180	105	58.3%	90.4	87.0	3	180	105	58.3%	90.4	87.0
III	介護保険運営の安定化に資する施策の推進	12	360	140	38.9%	145.1	195.3	2	60	15	25.0%	13.0	18.8
	(1) 介護給付の適正化	7	260	90	34.6%	111.0	155.5	—	—	—	—	—	—
	(2) 介護人材の確保	5	100	50	50.0%	34.1	39.8	2	60	15	25.0%	13.0	18.8
合 計		58	1,375	760	55.3%	642.4	723.6	28	730	355	48.6%	320.6	335.5
県内平均点		—		642.4	46.7%	—		—		320.6	43.9%	—	
全国平均点		—		723.6	52.6%			—		335.5	46.0%		
【参考：令和2年度】		76	1,575	878	55.7%			38	870	410	47.1%		
【参考：令和3年度】		77	1,590	869	54.7%			40	885	405	45.8%		

【評価指標について】

- 項目数、指標内容は毎年見直しされている。
- 令和4年度は、全体の項目数が前年度と比較し19問（24.6％）減少している。